



# 平成30年度 2018山形県マーチング&バトンフェスティバル 共通審査内容(マーチングバンド部門)

## 平成30年度 共通審査内容(1/2)

### ■マーチングバンド部門

#### 1.【演奏の技術】

##### 1)管楽器の個々の演奏技術

- ①音程 息の使い方が的確に行われ、それぞれ演奏する楽曲の音階で正確に音程をとってソルフェージュできているか。
- ②音色 個々の楽器が持つ音色が美しく響きのある演奏ができているか。
- ③呼吸法 音程、音色をより高品質な状態に保つため、また音楽表現をより豊かにするための腹式呼吸が正確に行われているか。
- ④テンポ 演奏する楽曲のテンポを理解し、そのテンポに乗ったスムーズな演奏ができているか。

##### 2)管楽器のアンサンブル

- ①メロディー 主旋律の内容を聴衆が満足しうる演奏内容で演奏できているか。また、楽曲の表現したい内容が聴衆に伝わるように演奏できているか。
- ②フレージング 個々のメンバーが演奏する楽曲の楽節ごとの流れを理解してアーティキュレーション、イントネーションを揃えて演奏しているか。
- ③ハーモニー 和音がバスからソプラノまでバランスよく響く演奏となっているか。
- ④タイミング 演奏する楽曲のテンポにリズムを合わせて演奏できているか。また音のリリースが揃っているか。

##### 3)打楽器の技術とアンサンブル

- ①打法 1つ打ち、2つ打ち、フラム、デイドル等の奏法の特徴を熟知して演奏しているか。
- ②ピッチコントロール バッテリーの各楽器が合奏の中でマッチしたチューニングになっているか。
- ③バランス バッテリー内、ピット内、又はバッテリーとピット間のバランスが整った状態のアンサンブルとなっているか。
- ④ピット 置き楽器(マリンバ・シロフォン・ティンパニ等)が演奏上必要不可欠な形で存在し、楽曲の音楽性をより高める演奏ができているか。
- ⑤タイミング 演奏する楽曲のテンポにリズムを合わせて演奏できているか。

##### 4)全体の技術

- ①音楽表現 緩急をおりませ、また強弱のコントラストが明確に表現され聴衆を飽きさせない演奏ができているか。
- ②合奏の完成度 管楽器と打楽器のバランスがほど良くブレンドされ、音楽的に優れているか

#### 2.【動きの技術】

- ①フットワーク 個々の足の運び方が統一された美しさを感じさせることができているか。
- ②姿勢 背筋がコントロールされて身体のラインが統一され、美しさを感じることができているか。
- ③ポジションワーク フォーメーションを美しく見せるために、最も基本的で且つ重要なインターバル・ディスタンス・ラインが統一され美しさを感じさせることができているか。
- ④ボディーワーク 身体のラインを美しく見せ、ダンス的要素を取り入れている場合は、それらの要素が有効に生かされ統一され、美しさを感じさせることができているか。
- ⑤楽器の操作 ベルワーク・スティックワークのタイミングが統一され、美しさを感じさせることができているか。
- ⑥手具の操作 カラーガード・バトン・スピナー等の手具の基本操作・応用操作を的確にマスターし統一され、美しさを感じさせることができているか。
- ⑦完成度 楽曲のイメージを効果的に表現し、フォーメーションの美しさが正確に表れ安定した動きとなっているか、そして、印象深い完成度の高い作品であるか。

#### 3.【全体的効果】

- ①音楽と動きの調和 上記の「音楽の技術」及び「動きの技術」の各項目の完成度と、演奏される楽曲のイメージを生かした手具を使用し、それらの手具の色彩もより効果的で、振り付けられた内容が楽曲のイメージをより印象づけるだけの完成度があるか、またフットワーク・楽器の操作の内容が楽曲のイメージをより印象づけるだけの完成度であるか。
- ②集団美 マーチングの魅力の源である「揃う」という観点において、フットワーク・ポジションワークが正確にマスターできて集団での統一された美しさが表現できているか。
- ③表現力 楽曲のイメージを充分理解し、演奏と動きの両面からバランス良く聴衆に訴えているか。
- ④完成度 演奏・演技の全ての内容の完成度を審査する。